

MUSIC
City
NSP SPECIAL

みのむし

1981年 秋号

11月1日発行

発行/2月5月8月11月
(年4回)



あつ—い夏の間、ゆっくりと休暇をとることもなく、スタジオにこもってねりにねりあげたLP、「THE WIND'S SONG」がいよいよ11/21に発売されます。時間をかけて、じっくりつくりあげられた今回のLPでは、これまでにないNSPのポップな味がでていて、うれしい驚きでいっぱい。すでに発売されている「潮騒のホテル」も大好評。果てしなく広がるNSPの世界。こんな時こそ、みのむしこの団結がものをいう。意欲たっぷりに突き進むNSPを、ガンガン応援しよう。

飛び日記

August 25. ☀️



ミュージック・シティの取材があったこの日。またまた突如として変身したのです。何が彼をそうさせたか...

「non・noに「最近め、きりみかけなくなりました。たまにみかけるとイモ男の子、ってあってそれを読んで あ〜あ そろそろやめなくちゃいけないなって思って…」ということでした。

September 25. ♡!!!

もうみんなは見たかな。久しぶりのNSP TV出演でドキドキワクワクしたんじゃない？
そうです！この日は「ジョッキーポップ」の録画撮影が行なわれたのです。そこではもうビックリすることだらけ！まず最初におどろいたのがNSP



写真提供 岩岡吾郎氏

のタキシード姿。そして次におどろいたのがあの豪華なセット。『僕の



リハーサル中真剣顔の3名

そばでの時にはバックにストリングスが加わってとってもいいムードでした。ところが天野くんにかメラがだんだん接近してきた時思わず「うん」と吹き出してしまったのです。久しぶりのテレビ出演であがってしまった上に仰仰しいセットの中で演奏するのはなかなかやりにくいもの。でも2曲だけというのは物足りなかったけど天野くんのアップで見た瞳はキラキラしていてとっても魅力的でありました。

October 3. ☀️

今日は10月7日から始まる

ツアーのリハーサルが福生市民会館を借り切って行なわれました。この日までに綿密な打ち合わせと連日夜中までの厳しいレッスンを経てこれから16ヶ所のツアーに入る前の最終リハということに全てが真剣勝負。

お客さんは誰もいないけれども照明やセットなど

全部本番どおり行なわれました。ところでちょっと上の写真を見て何か感じない？

そうなのです。天野くんと中村くんの位置が変わったことと、なあ〜んとなくNSPとバックが一体化しているみたいでしょう。今回はドラムの他はみんなコーラスをやっているのです。まるでNSPバンドみたい。だからこれまでになくより熱いものを感じちゃうのです。

それから... あと、あとは見てのお楽しみ!

〈バックバンドメンバー紹介〉・ギター(写真向かって左) 齊藤 憲 ^{めぐみ} S29.生.



なんとなく又ホッとしていて見ただけで飽きない人。ギター歴10年「NSPの印象は個性的の一言。」

・キーボード(写真向かって右) 藤井 俊行 S28.10.1生。広島出身。この人お酒大好き人間 飲みだすととまらない。「NSP? いやあなかなかですよ。唱える人はいいヤ。」

・ドラム (写真まん中) 高橋 伸之 S30.2.2生。NSPのドラムを始めて2年目。古かぶだけど最年少。「NSPはとってもかわゆいけど僕にもファンタジーちゃうかい」

11月21日発売になるLP。よりポップに、そしてやはり底に流れるNSPサウンドは強く息づいてい期待のアルバムです。この一枚のレコードをめぐって、かくされたエピソードを天野くんに綴ってもらいました。

New Album

THE WIND'S

ニュー・アルバム「THE WIND'S

僕の手元にはカセットテープがある。プラスチックの小さな箱の中にできた音が詰まっている。考えてみると六月の末、春のコンサートツアーを広島で終えて以来、このアルバムの制作にとりかかっていたから、ずいぶんと時間を費したものだ。タイトルは「THE WIND'S SONG」と名付けた。WIND=風は僕たちのまわりにいつもあって、とても自然なものだ。かつてに通り過ぎ、また立ち止まって僕たちを傍観していることもある。普段はまったく気にならないものでもあるし、時としてその存在感を体に直接感じる。「THE WIND'S SONG」はそんな風のようなものとしての僕たちのアルバムであって欲しいと思っている。

歌を作る場合、僕はだいたい曲から先に始める。メロディラインが決まってから徐々に詩をのせるわけだが、詩先行の歌も何曲がある。今回のアルバムの中では、「海に寄せて」と「LIKE A WIND」の2曲。メロディ先行の場合でも詩の断片的なイメージがあって、それを元にしてメロディをつけることも多い。「THE WIND'S SONG」に納められた曲も例外ではなく、特に今回はメロディラインに気をくぼって作った。今回からディレクターに新しく日朝(ひあさ)氏が参加すると同時に、プロデュースにも名を連ねてあらゆる細部にもタッチしている。日朝氏は自律神経失調症ぎみな芸術家タイプの人柄で外見はその反対に、O型っぽい人である。平賀がドラエモンというあだ名をつけた。もう少し詳しく説明すると、日朝氏は次のような人である。寝つきが悪く眠りが浅い。朝は床から離れにくい。肩がこりやすく下痢または便秘がちである。そして時折り、心臓の動悸が気になることがあり 新聞などで死亡記事を見つけると死因の病名を気にする。——このようなタイプなのだ。この日朝氏との打合せ段階で、サウンド面はよりポップなものを、という方向に意見がまとまり、アレンジャーには瀬尾一三氏に白羽の矢が立てられた。

こうした中で、徐々に音ができあがっていったが、曲の選考などで僕と日朝氏の意見の調整がつかず足踏み状態の時期があったが、日朝氏が自律神経失調症ぎみの性格を前面に押し出し、僕は一步下がった形でレコーディングが進められた。しかし、よりポップという意味で、日朝氏の発言には重みがあり結果的に良い方向に向ったと思う。日朝氏の手腕を評価したい。

内容であるが、まずA面一曲目には「キャンドルライト」が納められている。聴いてもらうとわかるだろうが、今までのNSPの印象とは少し違った感じをうけると思う。詩についても曲についてもNSPとしては新しいもので、これからを暗示している。また間奏にでてくる管楽器の音色も独特のふんいきをかもしだしている。二曲目は「海に寄せて。」海に関する歌はこれが4作目にあたる。始めて作った海の歌は「砂浜」だった。僕は海の近く

天野くんのサイパンみやげのおもしろい服を着てはしゃぐ兄弟のような二人。

写真右は 今回のLPのタイトル「ドラエモン」
と日朝氏。(このお名前はNSPが名付け親)



THE WIND'S SONG

「THE WIND'S SONG」によせて……天野 滋

NSP

で暮らしたことがなかったせいなのか、海の歌を作ってみようと思いついたのはNSPが「さようなら」でデビューして、百曲余りの曲を作ってからあとのことだ。それ以来、「漁り火」、「海辺に語りて」と続きこの「海に寄せて」である。海の歌に関していえば、佐藤春夫の「海辺の恋」の中に描かれているイメージから、まだ僕は抜けだせないでいるらしい。三曲目は「夕映えが見える」だ。平賀が作曲して僕が詩をつけた軽快なアップテンポの曲で、ボーカルは平賀がとっている。僕や中村もこの曲のボーカルをとる可能性があったが、検討の末、やはり作者の平賀が全面的にリードボーカルをとることになった。

A面4曲目はタイトル曲の「THE WIND'S SONG」。この曲はレコーディングの最中にできた曲で、さっそく録音してみると完成度が高いということで、タイトル曲になった。この秋のコンサートツアーのオープニング曲でもある。ボーカルはふたたび平賀がとっている。そしてA面最後には、「LIKE A WIND」。レゲエのリズムがこの数年気に入っていて、前作の天中平の中に納められている「YOU LOVE ME」と同一線上の曲である。B面に移って、「潮騒のホテル」。シングルとして9月21日に発売になっているわけだが、割合良く仕上がったなあーと自分たちでは思っているが、大ヒットの気配が今のところありません。みんな!! リクエストしようよ……。二曲目は「チケット握りしめて」。「RAIN」の裏面だった曲。ここではミックスタウンしなおしてある。これは一部で「RAIN」よりも好評だった。B面三曲目は「I SAY GOOD-BY」。軽快なポップイ曲、平賀がかわいく歌っている。次は中村唯一のボーカルの「星々の誘(いざない)」。このアルバムの中では少々異色で重い感じのアレンジである。サビの部分での厚いコーラスは、平賀と中村が重ねている。中村はレコーディングに入って前半戦は風邪がみで、「星々の誘い」のレコーディングも後半戦にもちこまれた。アルバムの最後をしめくくる曲は、「ほくのそばで」。素朴なラブソングだ。最近、こういったラブソングを好んで作っている。ストリングスとコーラスがボーカルを包み込むようなアレンジがなされ間奏のピアノも、より素朴に淡々と弾かれている。

以上10曲。できあがったカセットテープをゆっくり自分の部屋で聴いてみると、意識的にポップなサウンド作りのせいもあって、耳あたりは今までとかなり違っていると思う。その点、みんなも驚くんじゃないかと、ニマリしている僕たちである。しかし、注意深く聴いてゆくうちに、何か変っていない部分があることに気付く。以前のアルバムからずっと共通している何か、それがなんであるかは僕自身ははっきりとはわからないが、奥深いところに流れる変らないもの、どうしても変えようのないもの、それが僕たちNSPの本来の大切な部分なのではないかと改めて感じた。



「ねえ しげちゃん、とすり寄る平賀くん、満足気な笑みを浮かべる天野くん……「エーっ 二人はそういう関係なのね……」」



来年6月でデビュー10周年を迎えるNSP。今からいろいろな企画がたてられ、10周年にふさわしい催しものを計画中です。でももう10年もたってしまうんですね。いくらニューミュージックといえども、NSPの住んでる世界は浮き沈みのげしい音楽界。この厳しい世界で10年もやってこれたのは、やはりNSPの実力他ならないでしょう。

さあみのむしっこたち/10周年を前に私たちが立ち上がらなければいけません。この先20年も30年もNSPが活動できるように盛り上げていくのは私たちがしかいないのです。こ

こでがんばらなければ、夢の夢で終わってしまう！

「潮騒のホテル」をリクエストしてください！より多くの人にNSPの名が響き渡るように、みんなで力を合わせましょう。

あなたのお好きな放送

局へ、一人一日最低

2枚はリクエストを！

そして記念すべき

10周年記念を、

みんなで笑顔で

迎えようでは

ありませんか！



ニューシングル「潮騒のホテル」

みのむしっこ
リクエスト
合戦!



- | | |
|--|--|
| 〒060-91 札幌市中央郵便局内HBC
「ハロードライバーベスト10北海道」 | 〒951 新潟市川岸町3の2の1 北陸放送
「天下御免の日曜日」 |
| 〒030 青森市青森郵便局私書箱88青森放送
「歌謡曲オールリクエスト」 | 〒683 米子市皆生通り 山陰放送
「音楽の風車」 |
| 〒010 秋田市山王大通り秋田放送
「ジャンボサタデー今週のベストテン」 | 〒810 福岡市中央区渡辺通り2の1の82電気ビル内 FM福岡
「コーセー歌謡ベストテン」 |
| 〒020 盛岡市志家町岩手放送
「IBCトップ40」 | 〒810 福岡市中央区渡辺通り4の1の10 RKB毎日放送
「RKBベスト50」 |
| 〒980-91 仙台中央郵便局区内私書箱166号東北放送
「ザ・にちようび」 | 〒810 福岡市中央郵便局区内九州朝日放送
「歌う土曜日ホット30」(1人1枚) |
| 〒980-91 仙台中央郵便局区内私書箱166号東北放送
「ジャンボリクエスト」 | 〒890 鹿児島市高麗町5の25 南日本放送
「城山ズメ今週のベスト10」 |
| 〒422 静岡市登呂3の1の1 SBSラジオ
「SBS歌謡ベスト10」 | 〒870 大分市今津留1315 大分放送
「速報OBS歌謡ベスト30」 |
| 〒460 名古屋栄2の10の19 FM愛知
「コーセー歌謡ベストテン」 | 〒880 宮崎市下北方町858 宮崎放送
「ジュニアとケイのザ・ベスト20」 |
| 〒460 名古屋市中区新栄町42の15 中部日本放送
「CBS歌謡ベスト10」 | 〒860 熊本市山崎町30 熊本放送
「ベストヒット歌謡曲」 |
| 〒565 吹田市千里区内 毎日放送
「歌謡ベストテン」 | 〒850 長崎市中央郵便局私書箱50 長崎放送
「希望音楽会」 |
| 〒530 大阪市北区梅田町 ラジオ大阪
「バンザイ歌謡曲」 | 〒107 港区赤坂5丁目 TBSラジオ
「ザ・ヒットパレード水曜日ヤングアイドル」(20歳未満の方は年齢記入) |
| 〒530-91 大阪中央郵便局私書箱1331 ABC
「ヤングリクエスト」 | 〒107 港区赤坂郵便局私書箱4号 TBSラジオ
「ザ・ヒットパレード金曜日総合ベストテン」 |
| 〒530 大阪市北区中の島3の2の4 朝日新聞ビル内 FM大阪
「コーセー歌謡ベストテン」 | 〒107 港区赤坂郵便局私書箱4号 TBSラジオ
「森田公一の青春ベストテン」(1人1枚) |
| 〒530-91 大阪中央郵便局私書箱1343毎日放送
「MSBヤングタウンリクエスト」 | 〒160 新宿区新宿 FM東京
「コーセー歌謡ベストテン」 |
| 〒654 神戸市須磨局区内 ラジオ関西
「神戸発日曜午後1時」リクエスト係 | 〒160 新宿区文化放送
「全国歌謡ベストテン」 |
| 〒700 岡山市丸の内2の1の3 山陽放送
「RSK歌謡ベスト20」 | 〒160 新宿区文化放送
「歌謡紅白ベストテン」 |
| 〒745 徳山市公園区 山口放送
「今週の歌謡ベスト20」 | 〒160 新宿区西新宿 FM東京
「ステレオ歌謡バライティー今週のベスト5」 |
| 〒730 広島市基町21の3 中国放送
「RCCウィークエンドリクエストベスト20」 | 〒100 千代田区有楽町1の7 ニッポン放送
「不二家歌謡ベスト10」 |
| 〒380 長野県吉田1の21の24 信越放送
「SBC歌謡ベストテン」 | 〒107 港区赤坂5丁目 TBSテレビ
「ザ・ベストテン」(1人5枚位まで) |
| 〒951 新潟市川岸町3の2の1 新潟放送
「BSNヒットパレード」 | 〒105 東京都芝郵便局私書箱27号 日本テレビ
「ザ・トップテンリクエスト係」 |

NSP

さいきんのきんきよー



みなさんお待たせしました。
 NEW ALBUMが完成しましたよ。
 詞・曲・ボカレコーラス。あらゆる面で皆様に新鮮な風を吹かす内容に仕上がりました。僕ら自身新鮮に感じたくらいです。LPが完成するのと時を前後するように、秋のコンサートツアーが始まる。いっタイツインクル、今度のツアーは新LPのふんわりをそっくりそのまま持ち込んだように新しい刺激のはいります。期待して下さい。それと、若手・秋田の人。ラジオの方もよろしく！
 中村 貴之



僕達のシングル『潮騒のボタル』を聞いてくれたでしょうか。何か雰囲気を感じ取ってくれたでしょうか。それを思い出して、LPのレコーディングも秋一ヶ月かけてやっと終了し、お返しを行いました。以上は、もともと今度の『潮騒のボタル』以上に、もっとも驚くべき皆んなの反応が楽しみです。静かに静かに、大人の世界へ流れ込んで、NSPを応援して下さい。MR. BASS



初公開！平賀くんの堂堂とした(?) ドラム姿... キョア すてき、いっ。

天野「おい おまえ ぶきおれのしんが 良、た、らう、」
 中村「(キョ) エエ、おれじい、はい、早賀じい、はい、お、」



この時ばかりは、おれじい、はい、早賀じい、はい、お、



